

栃木県わがまち未来創造事業実績書（単位事業調査）
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	矢板たかはらマラソン大会
事業主体の名称	矢板たかはらマラソン大会実行委員会
代表者の名称	会長 渡辺 清二
事業主体の所在	矢板市矢板106番地2
事業主体の概要	<p>・団体の目的：参加者の健康保持増進を図るとともに、生涯にわたりスポーツに親しみきっかけ作りの機会創設による本市の生涯スポーツの推進を目的とし、さらには市内外からマラソン愛好者を募って大会を開催することにより、参加者同士の多地域間交流の場を提供するとともに、矢板市のイメージアップ・PRに寄与する。</p> <p>・設立年月日：平成2年4月1日</p> <p>・構成員等：市陸上競技協会を中心に市体育協会加盟団体全体で大会運営にあっている。</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>全国的な人口減少社会の中、矢板市においても人口減少やそれに伴う地域の活力低下などが懸念されており、人口流出の抑制や交流人口の増加など、人口減少に歯止めをかけるため、スポーツツーリズムを推進している。</p> <p>そこで、矢板市の掲げる市民ひとり1スポーツの趣旨に則り、だれもが気軽に楽しめるスポーツであるマラソンを通し、生涯スポーツの推進及び健康の保持増進に取り組むとともに、交流人口の増加に向けた観光施設及び交流イベントへの誘客を図るため、平成2年度より本大会が始まり、今年で第29回を迎える。</p> <p>本大会は、マラソン大会のシーズン初頭に開催されることもあり、足慣らしとして参加する方が多く、約7割が市外から参加（内県外が約3割）となっており、参加者同士の多地域間交流の場としての機能を果たしている。また、ゴール会場では食べごろを迎える当市の特産品であるりんごをはじめ、特産品を振る舞っておもてなしをすることで、本市のイメージアップ・PRに寄与している。</p> <p>これまでの取組みにおいて、大会参加者の市内周遊や施設利用等において一定の効果は認められるものの、継続的な再訪や市内周遊には至っておらず、効果を高めるためにも、情報発信の更なる取り組みを進める必要があると考えている。</p>
事業目的	<p>・マラソンへの参加を通して、参加者の健康志向の高まりや健康の保持増進をはかる</p> <p>・市内外の参加者同士の交流を促進する</p> <p>・市内施設の利用を促すとともに、本市の魅力PRするための情報発信に取り組む</p>
事業概要	<p>市制施行60周年事業と位置づけ、下記の要領にて実施した。ランナーは親子の組を含め1700名以上が参加した。 大会実施日：平成30年11月11日</p> <p>事業内容</p> <p>①実行委員会開催した。</p> <p>②参加申込書、プログラムなどを作成した。</p> <p>③大会を以下の内容で実施した。</p> <p>○競技種目は、ハーフマラソン、10キロ、5キロ、3キロ、2キロで行った。</p> <p>○競技種目の各クラスごとに表彰を実施した。</p> <p>○完走者には記録証を授与した。</p> <p>○参加者に記念品を贈呈した。</p> <p>④市制施行60周年記念大会として、有名ランナーの招致をおこなった。</p> <p>⑤観光PRの実施</p> <p>・大会プログラムへの観光情報掲載や、大会当日に参加者に観光パンフレットを配布するなど、大会時の市への来訪にあわせて、市内観光を促すための取組みを行った。</p> <p>・市外から本市を訪れる参加者が、市内周遊や施設の利用を促進するため、昨年度好評であった市の特産品であるりんごの試食等による本市の魅力PRや、温泉施設等の各種割引券の配布等を行った。</p> <p>【H31以降】 参加ランナーの更なる拡充を図り、大会を継続する。また、新たな取り組みとして、ふるさと納税を活用した参加者募集方法を取り入れ、交流人口の増加を図っていく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標 ⇒ 『来てもらう、住んでもらう人の流れをつくる』</p> <p>数値目標 ⇒ 交流人口数（人） 現状値（H26）1458,772 → 2,000,000（H31） [H29実績：1,654,348]</p> <p>KPI ⇒ スポーツ交流人口（人） 現状値（H26） - → 200,000（H31） [H29実績：149,481]</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①実行委員会の開催 ②プログラム等の作成 ③大会の実施 ④観光PRの実施	①実行委員会の開催 ②プログラム等の作成 ③大会の実施 ④観光PRの実施	①実行委員会の開催 ②プログラム等の作成 ③大会の実施 ④観光PRの実施		①実行委員会の開催 ②プログラム等の作成 ③大会の実施 ④観光PRの実施
事業費	6,931,092	6,664,993	7,105,491	20,701,576	7,105,491
市町支出金 (ソフト事業分)	3,000,000	2,500,000	2,500,000	8,000,000	2,500,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	3,931,092	4,164,993	4,105,491	12,701,576	4,605,491

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生涯学習課スポーツ推進班
担当者名	主任 黒崎 剛生
電話	0287-43-6218
FAX	0287-43-4436
E-mail	svougaigakusyuka@city.vaita.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書（単位事業収支精算書）

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	矢板たかはらマラソン大会	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
補助金	3,000,000	市補助金：2,500,000円 60周年記念事業実行委員会より：500,000円
参加料	3,427,000	大会参加料 1,000円×530人、1,500円×23人、2,500円×1,143人
賛助金	415,000	市内事業所等
物販売上金	1,200	大会結果一覧売上金
雑収入	1,215	預金利息等
繰越金	261,076	前年度繰越
計	7,105,491	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	244,830	200,000	100,000	44,830	会場・コース設営用消耗品
報償費	1,779,624	500,000	250,000	1,279,624	参加賞品代・表彰入賞品代 競技役員謝金
印刷製本費	914,976	700,000	250,000	214,976	大会プログラム・大会要項 等
通信運搬費	376,060	100,000	0	276,060	参加通知書等郵送代
委託料	1,543,435	1,000,000	400,000	543,435	記録計測業務委託
保険料	112,130	0	0	112,130	損害保険料
使用料及び賃借料	543,588	0	0	543,588	LPG・バイク借上代
食糧費	654,625	0	0	654,625	参加者食糧費（りんご・給 水）
燃料費	19,008	0	0	19,008	ガソリン代
手数料	180,544	0	0	180,544	振込手数料、申込手数料
その他	500,000				60周年記念事業費
次年度繰越	236,671	0	0	236,671	
計	7,105,491	2,500,000	1,000,000	4,105,491	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節（需用費、役務費は細節）の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書（単位事業調書）
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	たかはらやまトライアスロン in YAITA
事業主体の名称	たかはらやまトライアスロン実行委員会
代表者の名称	実行委員長 石塚 友章
事業主体の所在	矢板市本町8-15
事業主体の概要	<p>・団体の目的：トライアスロンを通じて市内の各団体、そして市民と共に豊かな自然・隣接する観光地への地理的条件も含めた矢板の良さを県内外にPRしていく</p> <p>・設立年月日：平成5年1月1日</p> <p>・構成員等：青年会議所メンバーなど約20人</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>全国的な人口減少社会の中、矢板市においても人口減少やそれに伴う地域の活力低下などが懸念されており、人口流出の抑制や交流人口の増加など、人口減少に歯止めをかけるため、スポーツツーリズムを推進している。</p> <p>そこで、豊かな自然の中でのスポーツを通じて市の魅力を発見・共感ひいては本市の良さを県内外にPRしていくとともに、交流の促進を図るため平成5年度より本大会が始まり、今回で26回目を迎える。</p> <p>当事業は県内唯一の一般競技大会として、県内外から参加者を集める大会となるだけではなく、県のトライアスロン選手権大会を兼ねており、県内の参加者に強くアピールする大会としても効果を発揮している。</p> <p>当市では、サイクルーツにも力を入れていることから、サイクリストに対して良好な練習環境をPRすることで、大会を通じ通年的な来訪者獲得を目指す。</p> <p>また、表彰式にあわせて、選手の健闘を称えるパーティーを開催することで、市の特産品等を楽しんでもらうとともに、選手やボランティアの交流の場をつくり出しているが、地域との交流が進んでいない。そのため、今後も矢板の良さをPRする取組みを進めるとともに、参加者と地域との交流を活性化させることが課題である。</p>
事業目的	<p>・スポーツを通じて、豊かな自然、隣接する観光地への地理的条件などを含めた”矢板の良さ”を県内外にPRしていく</p> <p>・県内外からの参加者と地域との交流を活性化させる</p>
事業概要	<p>「たかはらやまトライアスロン」を実施するとともに、市の特産品や市内及びその周辺の観光をPRすることにより、矢板市の魅力を伝えるための取組みを行った。また、一層地域に根差した大会とするため、選手を応援するギャラリーを増やすための取組を実施した。</p> <p>【平成30年度】</p> <p>①大会のPR及び情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、県内外のトライアスロンに関係する団体に対し、本大会の告知やポスター等の提供を行った。 ・大会HPや外部サイトを活用して情報発信及び参加者の募集を行った。 <p>②大会の開催【実施日：平成30年8月5日】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の地形を活かしたコースにおいて、「オリンピックタイプ」、「スプリントタイプ」、「リレーの部」、「キッズの部」のカテゴリに分けて大会を開催した。 <p>③市のPR及び観光誘客促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会参加者向けに市の特産品や観光地のPRを行うほか、表彰式にあわせて矢板市産の食材を使った料理をふるまうパーティーを行うことにより選手やボランティアの交流を図った。 ・会場でのふるさと納税PRにより、継続的な参加や市の応援者増を図る。 ・市内で同月中に開催される「やいた八方ヶ原ヒルクライムレース」等と提携し、市内外に本大会をPRした。 ・サイクリストも多く訪れることから、市が制作した周遊マップ等を配布し、練習などで継続的に来訪してもらえるようPRを実施した。 ・スポーツコミッションと連携して宿泊の推進等を行うほか、エントリー時に宿泊予定に関するアンケートを実施や大会の参加通知書とあわせてアンケートを配布して当日受付時に回収する等、スポーツツーリズム推進に向けた取組みを実施した。 <p>【平成31年度以降】</p> <p>次年度も継続して大会を開催、情報発信の更なる取組を進めていく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標 ⇒ 『来てもらう、住んでもらう人の流れをつくる』</p> <p>数値目標 ⇒ 交流人口数（人） 現状値(H26)1458,772 → 2,000,000 (H31) [H29実績：1,654,348]</p> <p>KPI ⇒ スポーツ交流人口（人） 現状値(H26) - → 200,000 (H31) [H29実績：149,481]</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①大会のPR及び情報発信 ②大会の開催 ③市のPR及び観光誘客促進	①大会のPR及び情報発信 ②大会の開催 ③市のPR及び観光誘客促進	①大会のPR及び情報発信 ②大会の開催 ③市のPR及び観光誘客促進		①大会のPR及び情報発信 ②大会の開催 ③市のPR及び観光誘客促進
事業費	5,544,824	5,507,283	5,212,807	16,264,914	5,348,000
市町支出金 (ソフト事業分)	450,000	450,000	450,000	1,350,000	450,000
うち県交付金	225,000	225,000	225,000	675,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	5,094,824	5,057,283	4,762,807	14,914,914	4,898,000

市町担当情報

担当課(クラブ・係)名	商工観光課 観光スポーツツーリズム担当
担当者名	
電話	0287-443-6211
FAX	0287-444-3324
E-mail	syokou@city.yaita.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書（単位事業収支精算書）

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	たかはらやまトライアスロン in YAITA	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
参加料	4,623,000	大会参加料（オリンピック13000円×263人、ショート10000円×90人、リレー18000円×8組、キッズ4000円×40人）
市補助金	450,000	
協賛金	50,000	
雑収入	2	銀行利息
繰越金	89,805	
計	5,212,807	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	1,004,015	100,000	50,000	904,015	ゼッケン、ボランティア関係物品
報償費	300,000	0	0	300,000	選手記念品、謝金等
印刷製本費	350,000	0	0	350,000	告知用ポスター(300枚)、チラシ(500枚)作製費用
通信運搬費	600,000	100,000	50,000	500,000	プログラム発送等
委託料	2,000,000	250,000	125,000	1,750,000	会場設営、タイム計測
保険料	142,729	0	0	142,729	選手保険料
交際費	30,000	0	0	30,000	協賛金
食糧費	676,513	0	0	676,513	パーティー費用（選手参加）
次年度繰越	109,550	0	0	109,550	
計	5,212,807	450,000	225,000	4,762,807	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書（単位事業調書）
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	ともなり文芸祭り
事業主体の名称	ともなり文芸祭り実行委員会
代表者の名称	委員長 松平 祐宣
事業主体の所在	矢板市本町5番4号
事業主体の概要	<p>・団体の目的：優れた歌人として、鎌倉時代の文学史を飾った本市初代川崎城主塩谷朝業翁を偲び、ともなり文芸祭りを開催することにより、本市文化の創造と本市のイメージアップを図ることを目的とする。</p> <p>・設立年月日：平成13年5月23日</p> <p>・構成員等：文芸に秀でた市民10人が委員となっており、近代短歌研究者である篠弘氏が顧問を務める。</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>優れた歌人・塩谷朝業にちなみ、平成7年度、栃木県で開催された第10回国民文化祭において、矢板市が短歌会場となり大勢の愛好者が集った。これを契機に市民の文芸熱も高まり、この後、ともなり文芸祭りが開催されることとなった。</p> <p>平成26年度の第16回大会から誌上大会となり、県内から短歌、俳句、川柳、詩の4部門において作品を募っている。短歌一般の部は全国から募集することとし、多くの応募があることから本市の知名度・イメージ向上に寄与しているが、文芸を通して市民に郷土愛の醸成を図っていくことが課題になっている。</p>
事業目的	短歌・俳句・川柳・詩を通して市民文化が更に深化・発展することにより、心豊かな地域づくりを図り、本市の知名度やイメージ向上のみならず、郷土愛の醸成を図る。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>矢板市の更なるPRや市民の向上心醸成を図るため、各種媒体を用いた告知を図り、短歌部門において全国から作品を募集した。</p> <p>市民主体の文化事業として、市民からなる実行委員会が事業主体となって事業を展開した。また市内の小中学校とも連携し、若年層を対象とした郷土愛と国語教育発展の場とした。</p> <p>市制施行60周年の記念事業と位置づけ、市民の文芸熱、郷土愛を醸成するため、「ともなり文芸祭り」誌上大会として以下の事業を実施した。</p> <p>①文芸作品の募集（7月～10月）</p> <p>②入賞作品の審査・講評（11～1月）</p> <p>③文化の日に合わせ実施している「ともなまつり」における作品の展示</p> <p>④入賞作品集の発行</p> <p>【平成31年度以降】</p> <p>本事業を通して文芸熱、郷土愛の醸成が図られるよう、広く作品を公募しながら本事業を継続する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>目標：各世代を支援する</p> <p>KPI：児童生徒におけるふるさとへの愛着度（%） 現状値（H26） 実績なし → 90.0（H31）</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

（単位：円）

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①文芸作品の募集 ②入賞作品の審査・講評 ③入賞作品集の発行	①文芸作品の募集 ②入賞作品の審査・講評 ③入賞作品集の発行	①文芸作品の募集 ②入賞作品の審査・講評 ③入賞作品集の発行		①文芸作品の募集 ②入賞作品の審査・講評 ③入賞作品集の発行
事業費	1,428,225	1,388,523	1,450,000	4,266,748	1,450,000
市町支出金 （ソフト事業分）	1,200,000	1,200,000	1,200,000	3,600,000	1,200,000
うち県交付金	600,000	600,000	600,000	1,800,000	
市町支出金 （ハード事業分）	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	228,225	188,523	250,000	666,748	250,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生涯学習課文化担当
担当者名	
連絡先	電話 0287-43-6218
	FAX 0287-43-4436
	E-mail gakusyuu@city.yaita.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書（単位事業収支精算書）

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	ともなり文芸祭り	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市補助金	1,200,000	
投稿料	102,000	短歌一般投稿料（1,000円×102組）
雑収入	7	銀行利息
繰越金	86,516	前年度繰越
計	1,388,523	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	31,536	0	0	31,536	事務用消耗品
報償費	705,431	660,000	330,000	45,431	選者謝金、入賞者商品
印刷製本費	486,462	450,000	225,000	36,462	要項、ポスター、作品集等印刷料
通信運搬費	91,303	60,000	30,000	31,303	投稿関係通知郵送料
広告料	59,400	30,000	15,000	29,400	広告掲載料
手数料	1,516	0	0	1,516	振込手数料
次年度繰越	12,875	0	0	12,875	
計	1,388,523	1,200,000	600,000	188,523	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節（需用費、役務費は細節）の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書（単位事業調書）
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	「つつじの郷やいた花火大会」事業
事業主体の名称	やいた花火大会実行委員会
代表者の名称	実行委員長 東泉 清寿
事業主体の所在	矢板市本町2番18号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的：市民手作りの花火大会により、市を盛り上げ、活性化することを目的とする。 ・設立年月日：平成19年5月14日 ・構成員等：各種団体や商工会の関係者等
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>矢板市の花火大会は、秋の風物詩として毎年10月に実施している。他の地域と花火大会の時期が異なることもあり、当日は市内外から多くの来場者がいるが、花火に集客が偏っており、日中から市内を訪れ、周遊してもらうような機会にしている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・昼夜ともに市内外から多くの人が集まることで地域イメージの向上を図るとともに、市民手作りのイベントを実施することで、地域の繋がりを深める。 ・本事業を通じて、来場者に対して本市の魅力を発信し、市への来訪者増加を図るとともに、市内周遊や市内施設の利用促進を促すことにより地域活性化を図る。
事業概要	<p>【平成30年度】 平成30年10月13日に、「つつじの郷やいた花火大会」を実施した。今年度は例年より2千発多い1万2千発の花火が打ち上げられ、多くの方に見ていただいた。また、開催にあたっては、チラシやHPを通して広く周知を図った。また、「ふるさとまつり」と同日開催とすることで、日中から夕方へスムーズな誘客を図った。 ①地域の住民や事業者等の多様な主体が参画した実行委員会における企画・検討 ②「花火大会」（19:00～20:30）の実施 約1万2千発の花火を打ち上げた。 ③インターネットを利用した大会の配信 ④有料観覧席の設置</p> <p>【平成31年度以降】 来場者の数や市内周遊の状況を踏まえ、取組みの改善を図りながら本大会を継続し、秋の風物詩としての定着を図りたい。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>目標：来てもらう、住んでもらう人の流れをつくる KPI：交流人口数(人) 1458,772(H26)⇒2,000,000(H31) [H29実績：1,654,348] 道の駅やいた関連施設利用者数(人) 974,000(H26)⇒1,200,000(H31) [H29実績：1,091,736]</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①多様な主体による企画検討 ②「ファミリータイム」開催 ③「花火大会」開催	①多様な主体による企画検討 ②「ファミリータイム」開催 ③「花火大会」開催	①多様な主体による企画検討 ②「ファミリータイム」開催 ③「花火大会」開催		①多様な主体による企画検討 ②「ファミリータイム」開催 ③「花火大会」開催
事業費	14,980,201	15,797,698	15,797,698	46,575,597	15,797,698
市町支出金 (ソフト事業分)	1,300,000	2,000,000	2,000,000	5,300,000	2,000,000
うち県交付金	650,000	1,000,000	1,000,000	2,650,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	13,680,201	13,797,698	13,797,698	41,275,597	13,797,698

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課 観光スポーツツーリズム担当
担当者名	今津
電話	0287-43-6211
FAX	0287-44-3324
E-mail	svoukou@city.yaita.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書（単位事業収支精算書）

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	「つつじの郷やいた花火大会」事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市補助金	2,000,000	
協賛金	13,023,673	企業等からの協賛金
雑収入	737,893	出店料、預金利息
繰越金	36,132	前年度繰越金
計	15,797,698	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
消耗品	674,709	0	0	674,709	看板製作費、会場用消耗品
印刷製本費	189,540	0	0	189,540	チラシ、ポスター印刷
通信運搬費	149,178	0	0	149,178	売店募集案内通知郵送料、電話代
委託料	13,567,778	2,000,000	1,000,000	11,567,778	花火打上げ、イベント会場設営費、警備費用、ごみ収集委託、事務委託費
火災保険料	166,700	0	0	166,700	損害賠償保険料
報償費	0	0	0	0	イベント出演料等
食糧費	296,728	0	0	296,728	会議お茶代等
手数料	33,356	0	0	33,356	道路使用申請手数料
広告宣伝費	342,900	0	0	342,900	
次年度繰越	376,809	0	0	376,809	
計	15,797,698	2,000,000	1,000,000	13,797,698	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書（単位事業調書）
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	「ふるさとまつり」事業
事業主体の名称	ふるさとまつり実行委員会
代表者の名称	会長 高柳 眞知子
事業主体の所在	矢板市本町5番4号
事業主体の概要	<p>・団体の目的：市民に郷土愛を強め、青少年に思い出のふるさととしての郷土観を深めるとともに、市民の健全なレクリエーションの場となり、また、出会いとふれあいの場となるまつりの実施を積極的に促進することを目的とする。</p> <p>・設立年月日：昭和56年7月6日</p> <p>・構成員等：各種団体や商工会の関係者等</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>「ふるさとまつり」は、夏の恒例イベントとして長年続いてきた祭りであるが、平成25年度は会場である長峰公園の除染工事のため休止となっていたことから、平成26年度からリニューアルして再開する。</p> <p>これまでの祭りでは、流し踊りや地元団体による郷土芸能など、様々なイベントが催されており、多くの市民が集まっていたが、休止期間があったため、より多くの参加者を集め、楽しめるイベントとしてのリニューアルが必要である。</p>
事業目的	<p>・矢板市のイメージアップ、市内外から、多くの方が「ふるさとまつり」に来場することにより交流人口の増加が図られる。</p> <p>・市民や地域づくり団体など、多様な主体がイベントに参加することで、地域の繋がりが深まる。</p>
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>①多様な主体が協力しながら、平成30年10月13日(土)に「ふるさとまつり」を実施した。</p> <p>・市制施行60周年記念として、これまで10年に1度実施していた山車の巡行をふるさとまつりの事業として位置づけ、市民参加型の祭りにとりして6行政区の山車を巡ってもらうスタンプラリーに参加できるコンテンツを用意した。結果として、市内外および県外から700名近い参加者があり、同日夜間開催の花火大会への集客増へと繋げることができた。</p> <p>【平成31年度以降】</p> <p>本実行委員会は、今年度の事業実施をもって解散とする。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>目標：来てもらう、住んでもらう人の流れをつくる</p> <p>KPI: 交流人口数(人) 1458,772(H26)⇒2,000,000(H31) [H29実績: 1,654,348]</p> <p>道の駅やいた関連施設利用者数(人) 974,000(H26)⇒1,200,000(H31) [H29実績: 1,091,736]</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
	①ふるさとまつりの開催		①ふるさとまつりの開催		
事業費	5,192,557	1,889,989	0	7,082,546	0
市町支出金 (ソフト事業分)	2,100,000	1,084,276	0	3,184,276	0
うち県交付金	1,000,000	542,000	0	1,542,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	3,092,557	805,713	0	3,898,270	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課 観光スポーツツーリズム担当
担当者名	
電話	0287-43-6211
FAX	0287-44-3324
E-mail	svoukou@city.yaita.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書（単位事業収支精算書）

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	「ふるさとまつり」事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市補助金	1,084,276	当初2,100,000円を支出したが、残高1,015,724を戻入
協賛金	0	
雑収入	6	預金利息
繰越金	805,707	前年度繰越金
計	1,889,989	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
委託料	600,000	600,000	300,000	0	会場設営、イベント委託
消耗品費	518,633	0	0	518,633	イベント用消耗品
燃料費	0	0	0	0	
通信運搬費	13,358	0	0	13,358	プリンターカウンター料
保険料	0	0	0	0	
報償費	569,433	484,276	242,000	85,157	スタンプラリー景品
使用料及び賃借料	0	0	0	0	
食糧費	2,600	0	0	2,600	会議時飲料代
印刷製本費	185,965	0	0	185,965	チラシ印刷代
計	1,889,989	1,084,276	542,000	805,713	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書（単位事業調書）
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	「木の駅プロジェクト」事業
事業主体の名称	木の駅プロジェクト実行委員会
代表者の名称	佐野 幸隆
事業主体の所在	矢板市本町2-18
事業主体の概要	<p>・団体の目的：林内に放置されている未利用材を利用する仕組みを構築し、森林所有者等による搬出の取組み意欲を促進する。あわせて、間伐の推進と間伐材の有効利用により、地域の林業・木材産業の活性化及び地域通貨の流通により商業の活性化を図る。</p> <p>・設立年月日：平成28年4月1日</p> <p>・構成員等：山林所有者、商工会、商店会等</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本市は、市内の6割を森林が占めているが、間伐等が行き届かない状態となっており、森林の水源涵養や土壌保全能力等の機能低下が危惧されているほか、林内に放置された間伐材の撤去が課題となっている。</p> <p>他方では、市内の商業面においても売上減少等による商店街の衰退が見受けられ、林業・商業等を連携させた地域経済の活性化が求められている。</p>
事業目的	<p>林地残材を資源として有効活用することにより、植林・育樹・伐採という本来の山林活用サイクルが可能となり、里山の森林整備が促進される。</p> <p>また、本事業を通じた仲間づくりや地域コミュニティの醸成や残材の販売によって地域の活性化を図る。</p>
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>①間伐材の受け入れ これまで活用されていなかった間伐材を受け入れ、チップに加工することにより、間伐の促進による森林保全を促進し、あわせて、チップを地域の資源として活用した。</p> <p>②地域通貨券の活用 商工会と連携するとともに、50を超える市内事業所の協力を得て地域通貨券の活用を行った。</p> <p>③出荷者向け安全講習会を開催した。</p> <p>④NPO法人や環境保全団体と連携し、伐採作業や製材工場見学等を行う林業体験イベントを開催した。 (H30.12.3)</p> <p>【平成31年度以降】</p> <p>これまでの結果を踏まえて事業改善を図るとともに、森林保全及び間伐材の有効活用を一層強化し、地域通貨券の取扱い店舗を拡大し、地域への波及効果を高める。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>目標：安定した雇用を創出する</p> <p>KPI：市民間従業者数(人) 12,168(H24)⇒12,168(H31) [平成28年度実績：14,944]</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①間伐材の受け入れ ②地域通貨券の活用 ③安全講習会の開催 ④林業体験ツアーの開催	①間伐材の受け入れ ②地域通貨券の活用 ③安全講習会の開催 ④林業体験イベントの開催	①間伐材の受け入れ ②地域通貨券の活用 ③安全講習会の開催 ④林業体験ツアーの開催		①間伐材の受け入れ ②地域通貨券の活用 ③安全講習会の開催 ④林業体験ツアーの開催
事業費	3,854,887	3,967,349	3,967,349	11,789,585	3,967,349
市町支出金 (ソフト事業分)	500,000	500,000	500,000	1,500,000	500,000
うち県交付金	208,000	250,000	250,000	708,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	3,354,887	3,467,349	3,467,349	10,289,585	3,467,349

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	農林課農政担当
担当者名	
電話	0287-43-6210
FAX	0287-44-3324
E-mail	nourin@city.yaita.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書（単位事業収支精算書）

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	「木の駅プロジェクト」事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
事業収入	2,266,919	間伐材販売収入
市補助金	500,000	
負担金	700,000	木材買取事業者、森林組合、商工会
分担金収入	0	講習会
手数料	48,360	地域通貨換金手数料
雑収入	7	預金利子
前年度繰越	452,063	
計	3,967,349	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支支額		自主財源等	
		市	町		
消耗品費	248,841	248,000	124,000	841	事務用消耗品、商品券作成
通信運搬費	29,498	29,000	14,500	498	郵送料、切手代
報償費	3,000,000	0	0	3,000,000	地域通貨発行費3,000,000円、安全講習会講師謝金50,000円
委託料	0	0	0	0	
旅費	256,498	203,000	101,500	53,498	視察研修費
広告料	21,900	20,000	10,000	1,900	軽トラ市等におけるPR費用
食糧費	10,722	0	0	10,722	
繰越金	399,890	0		399,890	
計	3,967,349	500,000	250,000	3,467,349	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書（単位事業調書）
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	川崎城跡公園周辺地域再生事業
事業主体の名称	川崎城跡公園再生市民会議
代表者の名称	代表 君嶋 通夫
事業主体の所在	矢板市本町5番4号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> 団体の目的：川崎城跡周辺の景観整備や周辺地域を活性化するためのイベント実施等を目的とする 設立年月日：平成19年5月17日 構成員等：活動の趣旨に賛同する矢板市内の個人及び団体
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>川崎城跡公園は約800年前、塩谷地方を領有していた塩谷氏が築城した川崎城の跡地を整備した公園である。毎年8月に「あんどんまつり」を開催しているが、市民への告知が十分ではなく、来場者の滞在時間も短い。あんどんを灯した風景をより楽しんでもらうには、公園内のみならず周辺の美化活動等も重要であり、一層の景観整備が必要になっている。</p> <p>さらに、「あんどんまつり」も10年目を迎えることから、より地域住民が主体となった取組みとしていくことが課題である。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> 矢板市のシンボルのひとつである「川崎城跡」にある川崎城跡公園を地域に愛される公園とするとともに、地域の活性化に寄与することを目的とする。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>①草刈等の景観整備 ・前年度に引き続き、イベントの周知や参加意欲を高めるため、市内の環境保全団体である「環境文化都市やいた創造会議」と連携し、公園の景観整備に加え、宇都宮大学農学部との協力のもと、河川の生き物観察会を実施した。</p> <p>②あんどんまつりの実施 ・平成30年8月25日(土)に第11回となる「あんどんまつり」を開催した。 ・矢板市市制施行60周年記念事業と位置づけ、HPやチラシ等を用いて、広く来場を呼び掛けた。 ・メインである5000個の「あんどん」設置し、幻想的な空間を演出。悪天候の中、地元の子どもたちによる「よさこいソーラン」や「吹奏楽」、若手団体の協力を得ながら「こどもみこし」や「灯籠流し」、前年度に引き続き実施した「浴衣コンテスト」などの参加型の企画を実施した。また、周年事業の取組みとして花火打ち上げ数の増加やLEDバルーンの配布等来訪者への魅力度アップを図った。</p> <p>【平成31年度】 これまでの取組みの改善を図りながら、地域の魅力発信の取組みを進める。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>目標：来てもらう、住んでもらう人の流れをつくる</p> <p>KPI: 交流人口数(人) 1458,772(H26)⇒2,000,000(H31) [H29実績：1,654,348]</p> <p>道の駅やいた関連施設利用者数(人) 974,000(H26)⇒1,200,000(H31) [H29実績：1,091,736]</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①草刈等の景観整備 ②あんどんまつりの実施 ③スタンプラリーの準備	①草刈等の景観整備 ②あんどんまつりの実施 ③スタンプラリーの開催	①草刈等の景観整備 ②あんどんまつりの実施 ③スタンプラリーの開催		①草刈等の景観整備 ②あんどんまつりの実施 ③スタンプラリーの開催
事業費	573,281	754,328	350,000	1,677,609	350,000
市町支出金 (ソフト事業分)	500,000	470,000	270,000	1,240,000	270,000
うち県交付金	235,000	235,000	135,000	605,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	73,281	284,328	80,000	437,609	80,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	都市整備課
担当者名	手塚 宏子
電話	0287-43-6213
連絡先 FAX	0287-43-9790
E-mail	tosisibi@city.vaita.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書（単位事業収支精算書）

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	川崎城跡公園周辺地域再生事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市補助金	470,000	市補助金 270000 60周年記念事業補助金 200000
負担金	60,000	物産展出店料
雑収入	89,001	預金利息、寄附金
繰越金	135,327	前年度繰越金
計	754,328	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	82,000	0	0	82,000	あんどんまつりイベント出演者謝金等
消耗品費	298,951	290,000	145,000	8,951	あんどん用ろうそく、LEDバルーン、ライター等
燃料費	7,106	0	0	7,106	草刈り機用燃料
通信運搬費	24,700	0	0	24,700	通知郵送料
保険料	13,400	10,000	5,000	3,400	作業保険料
委託料	194,757	170,000	85,000	24,757	警備・花火打ち上げ委託料
使用料及び賃借料	28,620	0	0	28,620	パワーライトリース料
手数料	7,900	0	0	7,900	火薬類使用許可申請手数料
食糧費	75,482	0	0	75,482	出演者用食事代
次年度繰越	21,412	0	0	21,412	
計	754,328	470,000	235,000	284,328	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節（需用費、役務費は細節）の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書（単位事業調査）
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	学生団体による「高校生の居場所づくり」事業
事業主体の名称	YAITA ALL DIRECTIONS
代表者の名称	代表 椎貝 菜月
事業主体の所在	矢板市本町5-4
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的：「高校生の居場所づくり」を目指して、高校生が主体的に活動する。また、高校生が地域の方たちと関わりあいながら、矢板市の魅力に関する情報発信を行うことで、地域の活性化を図る。 ・設立年月日：平成30年7月14日 ・構成員等：矢板市内に居住・在学する高校生および本会の目的に賛同する高校生
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>矢板市では、中心市街地の空洞化や少子高齢化が進行していることから、地域の活力低下などが課題となっている。</p> <p>そこで、市内の3高校の生徒が中心となり立ち上げる学生団体「YAITA ALL DIRECTIONS」の取り組みを通じて、地域活性化を図るとともに、地域の担い手としての育成を目指す。</p>
事業目的	<p>「高校生の居場所づくり」を目指した活動を支援する。</p> <p>また、高校生が矢板市の魅力に関する情報発信を行うことで、地域の活性化を図る。</p>
事業概要	<p>矢板市主催のまちづくりを学ぶ「矢板武塾」において、平成28年度に市内の中学3年生～高校2年生に行ったアンケートによると、「矢板駅周辺に高校生が勉強しやすい場所（個人・集団スペースあり）や交流する場所がほしい」との意見が大半となった。そのため、将来的に高校生が気軽に集うことのできる「高校生の居場所づくり」を考える必要がある。</p> <p>今回、立ち上げる団体では、高校生が主体的にまちを盛り上げる取り組みを行い、活動を通じて「居場所」を体感するとともに、活動拠点を設け、その場所がメンバー以外も含め、高校生の集まる「居場所」となっていくようにしたい。活動の初年度は、本格的な事業実施に先立ち、地域の状況把握など、拠点整備に向けた調査研究事業に重点を置いて活動する。</p> <p>【平成30年度】</p> <p>①7月 設立総会</p> <p>②8～10月 10月13日（土）の花火大会に合わせ、団体PRを目的としたメンバーによる出店に向けた準備・開催。</p> <p>当日は、タピオカドリンク、コーンスープを販売した。</p> <p>③11～3月 まちあるきマップの作成および配布。</p> <p>第1弾は「駅近グルメ」とのテーマを設定し、メンバーが選んだ市内店舗への取材やマップの作成を行った。</p> <p>④2月・3月 地域おこし協力隊が運営する組織「矢板ふるさと支援センターTAKIBI」のワークショップに参加。「TAKIBI」の拠点を整備中である矢板駅西側にある建物内に「高校生カフェ」の整備を開始。</p> <p>【平成31年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちあるきマップ第2弾の作成 ・SNSを活用した団体及び地域に関する情報発信 ・生涯事例の観察
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>目標：各世代を支援する</p> <p>KPI：児童生徒におけるふるさとへの愛着度(%) 現状値(H26) 実績なし → 90.0(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	30年度	31年度	32年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	①まちあるきマップの作成 ②団体のPR活動（イベントでの出店） ③高校生カフェに向けた準備 ④SNSを活用した情報発信	①団体のPR活動・メンバーの拡充 ②まちあるきマップの作成 ③高校生カフェに向けた準備・実施 ④SNSを活用した情報発信	①団体のPR活動・メンバーの拡充 ②まちあるきマップの作成 ③高校生カフェの実施 ④SNSを活用した情報発信		①団体のPR活動・メンバーの拡充 ②まちあるきマップの作成 ③高校生カフェの実施 ④SNSを活用した情報発信
事業費	622,000	300,000	300,000	1,222,000	300,000
市町支出金（ソフト事業分）	600,000	300,000	300,000	1,200,000	300,000
うち県交付金	300,000	150,000	150,000	600,000	
市町支出金（ハード事業分）	0	0	0	0	
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	22,000	0	0	22,000	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課 商工担当
担当者名	主任 相馬 智美
電話	0287-43-6211
FAX	0287-44-3324
E-mail	syoukou@city.yaita.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書（単位事業収支精算書）

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	学生団体による「高校生の居場所づくり」事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市補助金	600,000	
売上金	22,000	花火大会出店時の売上 (タピオカジュース200円×75杯、コーンスープ100円×70杯)
計	622,000	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	74,566	72,640	36,320	1,926	花火大会出店・拠点整備用消耗品 ユニフォーム作成代
印刷製本費	142,560	142,560	71,280	0	チラシ・ポスター・名刺・ マップ印刷代
通信運搬費	0	0	0	0	
使用料及び賃借料	10,000	10,000	5,000	0	花火大会ブース使用料
火災保険料	3,150	3,000	1,500	150	ボランティア保険料
備品購入費	307,264	307,000	153,500	264	「高校生カフェ」拠点用備品 机・PCディスプレイ・プリン タ代
委託料	64,800	64,800	32,400	0	マップデザイン委託
次年度繰越	19,660	0	0	19,660	
計	622,000	600,000	300,000	22,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合